



株式会社パソナテック 様

情報資産の識別・整理ソリューション SecureCube / Labeling 導入事例

ISMS認証取得を目指し 膨大な文書ファイルをラベル付けして適確に分類 さらにPマーク更新用の文書台帳も自動作成



■ 会社概要

株式会社パソナテック

1994年5月、旧株式会社パソナ Windowsレスキュー事業部として設立され、1998年3月にはIT分野に専門特化した派遣会社を目指し、株式会社パソナテックに商号変更。「IT HUMANWARE® COMPANY」として、ITエンジニアの自己実現の機会を提供している。企業とキャリアのベストマッチングを通じて最適配置を行うことを存在意義とし、IT/インターネット分野における人材派遣事業、人材紹介事業およびアウトソーシング事業を展開。

<http://www.pasonatech.co.jp/>



株式会社パソナテック
取締役
人事・IT・業務・CS担当
加藤 直樹氏

「このツールの一番の良さは“分かりやすさ”ですね。セキュリティ関連ツールはユーザーに説明しにくいものが多いのですが、SecureCube / Labelingは「分類してラベルを付けて保存する」と言えば済みます。システムの構造がシンプルで導入が簡単なのも利点です」



株式会社パソナテック
マネージャー
ITSM事業部
ITSM営業グループ
桜山 晃司氏

「台帳機能はなかなか搭載している製品が他になく、欲しかった機能だけに気に入っています。ボタン1つで対象のディレクトリに台帳が生成される手軽さに加え、他社製品に比べて動作が非常に安定して信頼感がある点も選んだ理由です」



株式会社パソナテック
リーダー
CS部 法務グループ
吉崎 美絵氏

「台帳をもとに、機密性の高い情報がどの場所にあるかが一目で分かり、情報資産の分類状況の分析が迅速に行えます。また、この分類傾向から情報資産の管理ルールの見直しを図るといった、情報管理手法改善のヒントが簡単に得られます」

人材派遣大手のパソナグループの中で、IT分野に特化した人材派遣・紹介およびアウトソーシング事業を展開する株式会社パソナテック。設立以来「IT HUMANWARE® COMPANY」としてITエンジニアの自己実現の支援を通じ、ビジネスシーンに多くのソリューションを提供してきました。近年は「インソーシング」「アウトソーシング」「グローバルソーシング」の3つのソーシングを融合したベストソーシングの提供を通じて、企業戦略の実現をサポートしています。同社では2010年7月、ISMS認証取得の取り組みの一環として、社内のドキュメントを情報の重要度別に分類・整理できるSecureCube / Labelingを導入。個人情報をはじめとしたクリティカルな文書データのセキュリティ管理に加え、社員やスタッフのセキュリティ意識向上など大きな成果を上げています。

■ 導入背景

ISMS認証の取得を目指して 情報資産の管理体制改革を決意

株式会社パソナテックがSecureCube / Labelingの導入を検討する直接のきっかけとなったのは、同社がISMS認証の取得に向けて動き出したことでした。同社には、事業の基本となる2つの方針があります。まずIT専門のサービスを提供する企業として、新しいテクノロジーやサービスに関する経験値を向上させること。もう1つは労働基準法や労働者派遣法など人材派遣業を取り巻く法的環境の変化に対応し、コンプライアンス面での強化を図ることです。この2つの延長線上に、今回のISMS認証取得も位置づけられていたと、同社 取締役加藤直樹氏は次のように語ります。

「そのための具体的な改善テーマが、社内のファイルサーバにある情報資産の管理をどうするかでした。当社には人材の個人情報や顧客企業に関する情報など、機密度の高い文書ファイルが何万、何十万と存在しています。これらを情報の重要度ごとに分類、リスト化し、適確に管理する必要があります。しかも単にリストを作っておしまいでなく、継続的に更新や再整理～活用に至る文書管理のPDCAサイクルを回し続ける必要があります。そのためには人手による作業では無理で、何らかの自動化ツールやサービスの導入は急務でした」(加藤氏)。

■ 導入経緯

ラベルを付けないと文書を保存できない! 情報セキュリティを徹底させる強力な機能

文書ファイル管理のツール探しが始まったのは、2009年の冬でした。各ベンダのWebサイトから候補を選んで比較検討を重ねた結果、SecureCube / Labelingを選択したと、同社 CS部 法務グループの吉崎美絵氏は振り返ります。

吉崎氏は選択の主な理由として、「コスト的に優れていることと、NRIセキュアテクノロジーズ(以下、NRIセキュア)の営業担当者が何度も足を運んで、当社の要望を理解してくれたことが大きかったですね。最終的に3社から見積もらったのですが、当時はJ-SOX法施行の直後だったこともあり、財務系ツールの提案が多かったのです。しかし、当社の要件はあくまで個人情報や機密データを守ることであり、そこにきちんと軸を合わせた提案をしてくれたのはNRIセキュアだけでした」と語ります。

一方、同社 ITSM事業部 ITSM営業グループの桜山晃司氏は、SecureCube / Labelingの操作感が軽快で文書データに関する情報収集も楽なため、日常の業務にインパクトを与えない点を高く評価しています。またSecureCube / Labelingでは、文書ファイルの内容に応じて文書の右肩に『極秘』、『社内限』、『関係者限』といった重要度を示すラベルを貼付できます。

「何より良いのは、このラベルを付けない限り文書を保存できない点です。予め決められたラベルポリシーに沿って強制的にラベルを付けていくことで、自然に文書の機密度の分類・整理が行われていくのは、他のツールにはない特長です。加えて、操作ボタンなどUIのデザインやポップアップ画面の見やすさもいいですね」(桜山氏)。

試用版のCD-ROMを使って部署内で展開、検討を重ね、これならいけると確信を得て、2010年春には正式に採用を決定。続く7月には利用開始となりました。

■ 導入効果

**社員の情報セキュリティ意識が大きく向上
台帳の自動作成機能でPマーク更新も万全**

SecureCube / Labelingの導入後は、文書ファイル管理の大幅な質的向上と負担軽減が実現されました。しかしそれ以上に変わったのは、社員の文書セキュリティに関する意識です。

桜山氏は、「ラベルを付けないと保存できないので、社員はその都度ファイルの内容について吟味せざるを得ません。それを繰り返すうちに、ファイルの取り扱い姿勢そのものが変わってきました。今までのように漫然と保存するのではなく、「この情報はどれくらいの重要度で、これが漏えいしたらどんな問題になるのか?」と意識

するようになったのです」と、SecureCube / Labeling導入がもたらした成果を挙げます。

もう1つの大きなメリットは、ファイル台帳の自動管理機能です。SecureCube / Labeling Enterpriseでは、管理サーバ上にファイルの台帳を自動で作成・更新できる機能が提供されており、どのファイルがどこに、どのようなラベルを付けて保存されているかを即座に検索することが可能です。

「当社は、人材サービス会社としてプライバシーマーク(Pマーク)を取得しており、2年ごとの継続審査にはファイルの管理台帳が必要です。今までは年1回、手作業でExcelを使って作成していましたが、この手間が大変です。また更新が頻繁なので、正確さを維持するためかなりの負担を強いられていました。それがSecureCube / Labelingでは自動的に行われるため、非常に大きな効率化と省力化が実現できました」(吉崎氏)。

運用開始後の変更にも、SecureCube / Labelingの台帳機能は柔軟に対応します。ラベルによる情報区分は5段階に分かれており、社内の情報セキュリティポリシーや業務判断によってラベルの区分が変更になった場合も随時変更が可能です。

「ツールの区分にこちらが合わせるのではなく、ビジネスの変化やポリシーの変更に合わせて自由に区分を変更できるのも特長です。さらに、

簡単に作成できるファイルの機密度分類レポートは、運用ルールのPDCAを見直す大きな判断材料にも利用しています」(吉崎氏)。

■ 今後の展望

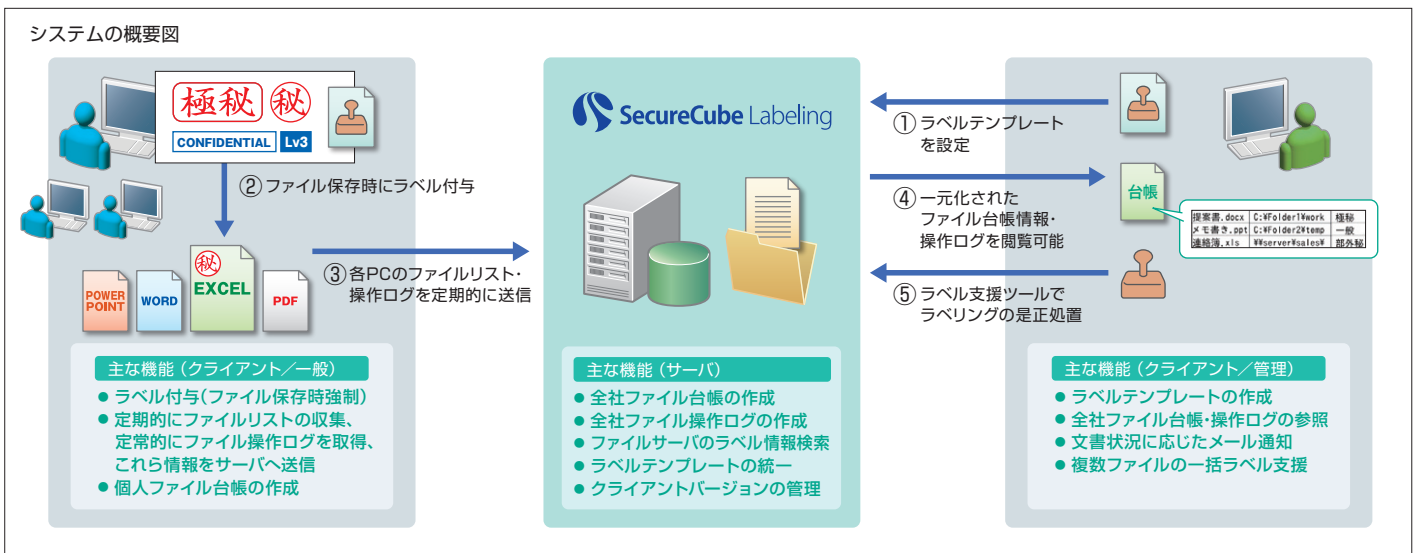
**他部署からも「使いたい」の声
そしてやがては全社統一ポリシーへ**

現在、ISMS取得関連の部署内の約50名で利用しているSecureCube / Labelingを、今後は社内にも横展開していきたいと同社では考えています。

これについて吉崎氏は、「すでに他部署のマネージャーからも、SecureCube / Labelingのラベルを使った管理を行いたいとの声をもらっています。最初の展開時に部内用に操作ハンドブックを作成してあるので、他部署への導入も迅速に行えると考えています」と言います。

また、加藤氏はそうした展開の延長として、「本来セキュリティやコンプライアンスは、全社で統一ルールを設けていくべきものです。いずれは海外も含めた全部署、全拠点をまとめていきたい」と展望を語ります。

IT系人材サービスのリーディングカンパニーとして、パソナテックは情報資産のセキュリティ管理の最先端にチャレンジし続けています。



NRIセキュアテクノロジーズ株式会社

〒105-7113 東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター
Tel:03-6274-1011 Fax:03-6274-1099
ホームページ <http://www.nri-secure.co.jp/>
メールアドレス info@nri-secure.co.jp

※NRI, NRIロゴ, NRI SecureTechnologies, NRIセキュアテクノロジーズ, SecureCube, SecureCube / Labelingは、株式会社野村総合研究所の商標または登録商標です。
※本カタログに記載の会社名・商品名・ロゴマーク等は各社の日本および他国における商標または登録商標です。
※本カタログに記載の内容は予告なしに変更することがあります。